

★COVID-19 の闘いと紛争停止をよびかけ＝グティエレス国連事務総長

私たちの世界は COVID-19 という共通の敵と対峙しています。このウィルスには国籍も民族性も党派も宗派も関係ありません。すべての人々を容赦なく攻撃します。

その一方で前世界では激しい紛争が続いています。女性や子供障害を持つ人々、社会から隔絶された人々、避難民などもっとも脆弱な人々が最も大きな犠牲を払っています。こうした人々が COVID-19 によって壊滅的な被害をうけるリスクももっとも高くなっています。戦争によって荒廃した国々では医療制度が崩壊していることを忘れないでおきましょう。

すでに数少なくなっている医療従事者が標的にされることも多くなっています。難民やその他の紛争で故郷を追われた人々は 2 重の意味で弱い立場に置かれています。ウィルスの猛威は戦争の愚かしさを如実に示しています。私が今日世界のあらゆる場所でグローバルな即時停戦をよびかけているのもそのためです。

紛争を停止し、私たちの命をかけた真の闘いに力を結集するときがきています。紛争当事者にたいし私は次のように訴えます。戦闘行為から離れてください。不信と敵意を捨ててください。銃声を消し、砲撃を停止し、空襲をやめてください。

それがどうしても必要なのは、救命援助を届けるための道を確保できるようにするためであり、外交に貴重なチャンスを与えるためであり、COVID-19 にたいして最も脆弱な人々が暮らす場所に希望を届けるためでもあります。

COVID-19 対策で歩調を合わせられるよう、敵対する当事者間でゆっくりと出来上がりつつある連合や対話から着同を得ようではありませんか。

しかしそれよりもはるかに大きな取り組みが必要です。それは戦争という病に終止符を打ち、私たちの世界を荒廃させている疫病とたたかうことです。そのためにはまずあらゆる場所での戦闘を今すぐに停止しなければなりません。それこそ私たち人類が現在、これまでも増して必要としていることなのです。

(3月23日 国連事務総長のビデオメッセージから)